2018年10月～12月の主な催し

10月10日(水)	[昼の部]14:00開演 [夜の部]19:00開演	ワンダフルコンサート リサイタルシリーズVol.1 出演/オーボエ：福田淳 ピアノ：大渕雅子	ドルチェ・アーティスト・サロン（ドルチェ楽器９F） （阪急「梅田」駅から徒歩約4分）	入場料・全席自由・各回 1,500円（当日500円増） Shionチケットセンター
10月20日(土)	10:15開演 11:00開演	響き、味わう、文化の祭典 時の響2018 指揮/西村 友　MC/羽田美智子	京都コンサートホール 大ホール （京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅から南へ徒歩約5分）	入場料・全席指定 2,000円 京都コンサートホール　チケットカウンターTEL075-711-3231
11月3日 (土・祝)	10:30受付開始 15:00発表会	≪大阪市芸術活動助成事業≫ 月イチ吹奏楽	大阪フィルハーモニー会館 （地下鉄「岸里」駅から徒歩約2分）	3,000円（見学無料） Shionチケットセンター
11月17日(土)	13:30開場 14:00開演	シネマミュージックコンサートin 伊丹 指揮/井村誠貴	東リ いたみホール (伊丹市立文化会館) （阪急「伊丹」駅から北へ徒歩約3分）	入場料・全席指定 一般3,000円　高校生以下1,500円 学生シート1,500円 親子ペアチケット4,000円 Shionチケットセンター
11月21日(水)	[昼の部]14:00開演 [夜の部]19:00開演	ワンダフルコンサート リサイタルシリーズVol.2 出演/チューバ：北畠真司 ピアノ：橋本礼奈	ドルチェ・アーティスト・サロン（ドルチェ楽器９F） （阪急「梅田」駅から徒歩約4分）	入場料・全席自由・各回 1,500円（当日500円増） Shionチケットセンター
11月25日(日)	13:00開場 14:00開演	Osaka Shion Wind Orchestra 第122回定期演奏会 指揮/飯森範親　ソプラノ/佐藤瞳	ザ・シンフォニーホール （JR環状線「福島」駅から北へ徒歩約7分）	入場料・全席指定 S席5,000円　A席4,000円 B席3,000円　ペア席7,000円 （S/A/Bは当日500円増）
12月6日(木)	18:00開場 19:00開演	創立95周年　大栗裕生誕100年記念 特別演奏会 指揮/秋山和慶　ソプラノ/四方典子	あましんアルカイックホール （阪神「尼崎」駅から徒歩約5分）	入場料・全席指定 S席5,000円　A席4,000円 B席3,000円 Shionチケットセンター
12月19日(水)	[昼の部]14:00開演 [夜の部]19:00開演	ワンダフルコンサート リサイタルシリーズVol.3 出演/フルート＆ピッコロ：礒田純子 ピアノ：蒲生祥子	ドルチェ・アーティスト・サロン（ドルチェ楽器９F） （阪急「梅田」駅から徒歩約4分）	入場料・全席自由・各回 1,500円（当日500円増） Shionチケットセンター
12月23日(日)	受付17:30～ ディナー18:00～ ショー19:00～	Hyatt Regency Osaka Christmas Dinner Show 宮川彬良×Osaka Shion Wind Orchestra 歌/ダイナマイトしゃかりきサ～カス	ハイアット リージェンシー大阪　ボールルーム （ニュートラム南港ポートタウン線「中ふ頭」駅から徒歩約3分）	入場料・全席指定 16,000円 Shionチケットセンター

【お問合せ】Shionチケットセンター0800-919-5508(土・日・祝を除く10:00～17:30)

※料金はすべて消費税込です。

10/24 New Release!

― 管楽器が煌く20世紀の音楽～管弦楽から吹奏楽へ～ ―

「シンフォニエッタ」　秋山和慶 指揮

Sinfonietta

【収録曲】

M.グールド/P.J.ラング編曲：アメリカン・サリュート　Sバーバー/J.レヴィ編曲：ファースト・エッセイ

W.H.シューマン：ニュー・イングランド3部作　L.ヤナーチェク/上埜 孝編曲：シンフォニエッタ

J.フチーク/M.L.レイク編曲：フローレンティナー行進曲

2018年2月4日　ザ・シンフォニーホール　ライヴ録音　FOCD9792　定価：￥2,600+税

次号（第41号）の発行は平成30年11月1日の予定です。

Shion Osaka Shion Wind Orchestra

Shionタイムズ

Since 1923 95th Anniv.

2018 September October No.40

発行所　公益社団法人　大阪市音楽団　大阪市住之江区緑木1-4-138　TEL.0800-919-5508

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ創立95周年

歌と響きあう、吹奏楽

2018年11月25日（日）14:00開演

第122回定期演奏会

～ 歌のシンフォニー～

ザ・シンフォニーホール　（JR福島駅から北へ徒歩7分）

指揮：飯森 範親　ソプラノ：佐藤 瞳

合唱：大阪すみよし少年少女合唱団

【プログラム】

メンデルスゾーン :吹奏楽のための序曲 ハ長調

ヒンデミット: 吹奏楽のための交響曲 変ロ調

J.デメイ: 交響曲第4番「歌のシンフォニー」

(C) 遠藤アスミ

2018年12月6日（木）19:00開演

大栗裕生誕100年記念 特別演奏会

～Shionが奏でる、大栗裕100年～

あましんアルカイックホール（阪神尼崎駅から徒歩5分）

指揮：秋山 和慶　ソプラノ：四方 典子

【オール大栗裕プログラム】

吹奏楽のための小狂詩曲　　仮面幻想

吹奏楽のための神話～天の岩戸の物語による

ピカタカムイとオキクルミ(語り：大槻温子)

吹奏楽のための大阪俗謡による幻想曲

入場料：S席5,000円/A席4,000円/B席3,000円/ペア席7,000円(122回のみ)/学生割引あり(S･A･B各席1,000円引き)

※122回定期は､S･A･B当日500円増し。※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

2019 2/2 sat. 14:00　第123回定期演奏会

～リンドバーグ降臨～

会場：ザ・シンフォニーホール

指揮・トロンボーン：クリスチャン・リンドバーグ

曲目：組曲『山の王』Op.37　ほか

【チケット】Ｓ席5,000円、Ａ席4,000円、Ｂ席3,000円　、

ペア席7,000円 、学生（Ｓ/Ａ/Ｂより1,000円引き）

【チケット取り扱い】Shionチケットセンター Tel:0800-919-5508（土・日・祝を除く10:00～17:30）

福島秀行の吹奏楽余話
Part 8

「ブラバン」と「吹奏楽」、それから…

シオンは「ウインド・オーケストラ」を名乗っていますが、もうひとつ、「ウインド・アンサンブル」という言葉もあることを以前のこのコラムでご紹介しました。しかし、日本で「吹奏楽」を英語（？）で言う時、昔はみんな「ブラバン」と言ってましたね。
今さらですが、「ブラバン」は「ブラスバンド」の略称です。では「ブラスバンド」とは何かと問われたら、本当は「英国式金管バンド」と答えなければなりません。「英国式金管バンド」って何なのかとなると・・・本格的に説明すると長くなるので超簡単にいえばある種の金管楽器と打楽器のみで編成された楽団です。だから、フルートやクラリネット、サックスなど木管楽器が入っている「吹奏楽」とはまったく別物です。
「ブラバン」＝「吹奏楽」は完全な間違いなのです。
私はむかし、部外者が安易に「ブラバン」という言葉を「吹奏楽」の意味で使っているのを聞くと無性に腹が立って仕方ありませんでした。そのうち、「ブラバン」という言葉自体が大嫌いになってしまいました。
しかし、関係者の努力もあってか、最近はめったに「ブラバン」という言葉を見たり聞いたりすることはありません（たまにはありますが）。なんとかやっと平穏な日々を過ごせていました。
ところが近年、なんだかちょっと気持ちがゾワゾワする言葉に出会うようになりました。それは「吹部」（すいぶ）です。独特のイントネーションで使用されるこの言葉は、もうどこの地方の学校でも使われているほどかなりメジャーになっているようです。もちろん「部」なので、学校用語ではありますが、「吹奏楽」は「ブラバン」からいつのまにか、「吹部」に変わってしまいました。そして、この言葉はこの先もずっと使用されそうなくらい定着しているみたいです。
「ブラバン」ほど明確に間違った言葉ではなく、たんなる省略語ですから目くじら立てるほどのこともないのですが、いつまでたっても違和感を感じるのは私の年のせいでしょうか？多分そうなのでしょうね（苦笑）

11月21日 水曜日

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ
ワンダフルコンサート
リサイタルシリーズ　Vol.2

■ 間近で楽しむ室内楽コンサート（チューバ＆ピアノ）
開演：昼の部14:00～、夜の部19:00～　　≪2回公演≫
会場：ドルチェ・アーティスト・サロン(ドルチェ楽器９F)
出演：チューバ 北畠真司　ピアノ 橋本礼奈
【プログラム】
・チューバとピアノのためのバラード　(J.クシビツキ)
・ソナタ（G.F.ヘンデル）・リベルタンゴ（A.ピアソラ）
・ コンチェルティーノ(昼の部のみ）（R.ヴィルヘルム）
・ コンチェルティーノ(夜の部のみ）（J.クーツィール）
【チケット】
　前売：1,500円、当日：2,000円
主催：公益社団法人大阪市音楽団
後援：大阪市教育委員会　　協力：株式会社ドルチェ楽器

12月19日 水曜日

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ
ワンダフルコンサート
リサイタルシリーズ　Vol.3

■ 間近で楽しむ室内楽コンサート（フルート＆ピアノ）
開演：昼の部14:00～、夜の部19:00～　　≪2回公演≫
会場：ドルチェ・アーティスト・サロン(ドルチェ楽器９F)
出演：フルート＆ピッコロ 礒田純子　ピアノ 蒲生祥子
【プログラム】
・マドリガル　(P.ゴーベール)
・ルーマニア民族舞踊（B.バルトーク/堀内貴晃編）
・コンチェルティーノ(昼の部のみ）（C.シャミナード）
・ファンタジー(夜の部のみ）（G.ユー）
・想い出は銀の笛(ソロ版）（三浦真理）
【チケット】
　前売：1,500円、当日：2,000円
主催：公益社団法人大阪市音楽団
後援：大阪市教育委員会　　協力：株式会社ドルチェ楽器

Shionチケットセンター
ﾌﾘｰｺｰﾙ：0800-919-5508 (土・日・祝を除く10:00～17:30)
http://shion.jp

Shion SNSアカウントのご案内

Shionのホットな情報をお届けする様々なSNSアカウントのご案内です。
いろんな情報を知ってから演奏会に来るとさらに楽しい！楽団員の普段とは違う一面も見れちゃうかも！
皆さんもぜひご覧ください。

Twitter〔@OsakaShion〕ライブラリのつぶやき始めました！

Facebook〔Osaka Shion Wind Orchestra〕定期演奏会の曲目解説などを配信中！

Instagram〔osaka_shion_wind_orchestra〕公演の告知や終了公演報告など！

リレーコラム Vol.7

ユーフォニアム奏者：三宅孝典

親友岩尾氏との思い出

岩尾君との出会いは彼が受験したクラリネットの採用試験の時である。見事入団が決まり、4月から晴れて私たちと一緒に演奏を行うことになる…はずであった。ところが卒業見込みだった彼はもう1年大学に残らざるを得なくなった。その年、東京佼成ウインドオーケストラのエキストラとして出演している岩尾君を発見し、打ち上げの席で『もしオーディションがあれば受けに来ることが大事だよ』～『そうだねぇ、タイミングが合えば…』と言葉を交わし、彼は再度オーディションに挑戦、合格となり“市音を2度受験して2度合格した男”という伝説を作るのである。

約30年前のこと、市音が全国の表舞台に出るチャンスが訪れる。東芝EMIが企画した“マスター・ピース・シリーズ”というCD制作に東京佼成W.O. シエナW.O.とともに市音も参加することになったのだ。初めての録音、テンションが上がらないはずはない。会場が箕面市のメイプルホールで奈良からは遠いので、私が『僕、箕面に泊まるわ』と言うと『じゃあ、俺も』と・・・。サクソフォンの長瀬君を含めて3人で泊まり込み、ホテルでは東芝の録音スタッフの方々もいて結局録音談義と市音の未来を語り明かし、箕面での宿泊はこのシリーズが終結するまで何度も続いたのである。

2年程前の事であろうか、宮川彬良指揮の定期演奏会のプログラムノートが発端となり、彼と約2時間にわたって電話で議論したことがある。議題はロバート・ラッセル・ベネットが作曲した「アメリカ古典舞踊組曲」の解説である。いろんな資料、文献から解説を書いたのであるが、彼がフレデリック・フェネル氏から伝え聞いたことと少し違う、というのである。そのことから曲目解説に対する認識をあらためて考えなおすきっかけ をくれたような気がしている。『三宅さんとは今後もこういった話はしていかないとね！』という言葉で終わったのだが、“こういった話”はこの世では出来ないままとなってしまった。

第121回の定期演奏会のリーフレットにはクラリネットを吹く岩尾君の姿が写っている。この定期演奏会ではきっとどこからか岩尾君が奏でるクラリネットの音がザ・シンフォニーホールにこだまする と私は信じている。

クラリネット奏者　岩尾眞治氏は1985年4月に入団以来、演奏でShionを支え続け、民営化後も音楽に更なる情熱を注いでおりましたが、かねてより療養中のところ2018年7月10日に永眠いたしました。
岩尾氏のご冥福を一同心よりお祈りいたします。

※この記事は三宅孝典が、親友であった岩尾氏への追悼の気持ちを込めて執筆したものです。

Shionメンバーによる「オススメの１枚」Vol.8

案内人：礒田純子

デュトワ指揮：モントリオール交響楽団
「海～ドビュッシー管弦楽曲集」

「海」「牧神の午後への前奏曲」等が収録されています。繊細かつダイナミックな表現力で、当時高校生の私に、将来演奏家になりたいと思わせてしまったきっかけのCDかもしれません。牧神の冒頭フルートソロ(ティモシー・ハッチンス氏)は、もう…たまりませんよ！
4～5 年前モントリオール響が来日。プログラムもほぼこのCDに収められた楽曲！憧れのハッチンス氏に、また会いたい一心でお願いして、ゲネプロも聴かせて頂きました。月日は経っているのにこのCDと変わらぬ演奏…もう言葉にならない感動で、あの何とも言えない音色にある意味悶絶でした。
休憩中には一緒に蕎麦やアイスを食べ、質問攻めの私に、彼は親切丁寧に目の前で演奏してくれながら、替え指やフレージングのアドバイスをしてくれました。
しかも後日、モントリオール響HPの楽団ツアー記事の中に、私の写真が…ビックリ！
どうしたらそんな音色が？と、アンブシュアをあらゆる角度から観察し、こんな人は初めてだよーってゲラゲラ笑われながら、オケのメンバーに写真撮られてました。今思えばかなりの顔面接近に、ハッチンス氏は嫌がりもせず…気さくで本当に優しいお方でした。音色って人柄が表れるのですね！

ふるさと納税でShionを応援してください。
「なにわの芸術応援募金」～大阪市芸術・文化サポート事業～

募金の問合せ先：大阪市経済戦略局文化部文化課（文化担当）
電話番号06-6469-5174　ファックス番号06-6469-3897
メールアドレスga0022@city.osaka.lg.jp
スマートフォン・パソコンで　大阪市ふるさと寄附金　検索（ 🔍 ）

この募金は、大阪市のふるさと寄附金のメニューのひとつで、登録された芸術・文化団体の中から応援したい団体を選ぶことができます。「公益社団法人大阪市音楽団」をご指定いただいた場合の応援募金は、Shionへの助成金として役立てられます。Shionが長年、担ってきた“大阪の音楽文化の発展に寄与するための活動をこれからも続けていきたいと考えていますので、皆様の温かいご支援をよろしくお願いします。
募金のお申込み方法など詳しくは大阪市ホームページをご覧ください。